



福井労働局発表
平成30年4月27日(金)

報道関係者 各位

【照会先】

福井労働局職業安定部職業安定課

課長 宮川 慶彦

課長補佐 富田 道治

地方職業指導官 増田 陽美

電話 0776-26-8609 (内線 5202)

平成30年度ハローワークのマッチング機能に
関する業務の評価・改善の取組について

全国の公共職業安定所（ハローワーク）においては、平成27年度より「ハローワークマッチング機能の総合評価」に取り組んでおりますが、平成30年度は、昨年度より引き続き社会的ニーズが高い正社員就職実現に向けた取り組みや、福祉分野・建設分野の人材確保対策を強化するための項目を必須目標として設定し、引き続きPDCAサイクルによる目標管理の手法を通じ、業務改善を進め、マッチング機能の強化を図っていくこととしています。（別添1参照）

このことを踏まえ、福井労働局においては、就職件数や求人充足件数等に係る目標値を別添2のとおり設定し、その目標達成に向けた取組内容等について労働局ホームページに掲載いたします。

福井労働局及び各ハローワークでは、この目標の達成に向けて取り組んでいくほか、中長期的な業務の質の向上や継続的な業務改善を図るとともに、成果や評価結果、業務改善の状況等について利用者にわかりやすく公表することにより、ハローワークに対する信頼感の向上に努めることとしています。

ハローワーク評価の意義

- ハローワーク評価は、ハローワーク業務の継続的な改善につなげ、ハローワークの「雇用のセーフティネットとしての役割」を高めていくための「手段」として位置づけられる。
- 具体的には、この取組を通じることで、①実効性のあるPDCAサイクルを廻すことが可能となり、継続的な業務改善を通じて、②職員のモチベーション向上にもつなげる。

職員のモチベーション

- ◆ 各指標を単独で考えるものではなく、もう一つ上の次元の目標（「セーフティネットとしての役割を強化する」）を意識することができること
- ◆ 短期的な視点ではなく、中長期的な観点から必要となる職員の資質向上等の取組を取り入れており、未来志向であること
- ◆ PDCAサイクルにより継続的な業務改善を管理表等により実感できること
- ◆ 公表・好事例の展開などで自ハローワークの取組が評価されるとともに、全国的な広がりにつながる可能性があること

全国の各ハローワークとの適正な比較

他のハローワークと比較することで、自らの取組を振り返り、自ハローワークの強み・弱みを把握できるため、それに応じた計画的な業務運営が可能になる。

公表と国民からの信頼へ

公共機関であっても、組織のパフォーマンスの評価及びこれに基づく継続的な業務改善は必要。

また、国民が広く利用するセーフティネットとして業務改善の実施状況や評価について広く公表して国民の理解を得る。

ハローワークのミッション
～雇用のセーフティネットとして機能する～

実効性のあるPDCAを廻す

- ◆ 同質の他のハローワークと比較することで、自ハローワークの相対的な強み・弱みが「見える化」できること
- ◆ 「管理表」による計画立ったPDCAサイクルを廻せること
- ◆ 他のハローワークの好事例を自ハローワークの取組へ反映できること
- ◆ ハローワークだけでなく、労働局や本省においても進捗状況の管理・改善策の検討を行うことで、重層的なPDCAを廻すことができること

労働局における平成30年度マッチング機能の 総合評価に係る目標設定等

マッチング機能に関する業務目標(主要指標)

	局計	福井所	武生所	大野所	三国所	敦賀所	小浜所
①就職件数	14,337	5,880	3,300	1,132	1,515	1,585	925
②充足件数	14,237	6,340	2,984	900	1,645	1,468	900
③雇用保険受給者の 早期再就職件数	3,973	1,650	950	307	504	352	210

- 「①就職件数」とは、「公共職業安定所の職業紹介により常用就職した件数」のこと。
- 「②充足件数」とは、「公共職業安定所の常用求人(受理地ベース)の充足件数」のこと。
- 「③雇用保険受給者の早期再就職件数」とは、「基本手当の支給残日数を所定給付日数の3分の2以上残して早期に再就職した件数」のこと。

上記主要指標のほか、マッチング業務の質を測定する指標(満足度調査等)や、地域の課題を踏まえ、特に重点的に推進し成果をあげる必要がある業務としてハローワーク毎に選定する指標(生活保護受給者等の就職件数等)等についても、それぞれ目標を設定(別添参照)し、その達成に向けて取り組む。

目標達成に向けた具体的な取組内容

①就職件数 14,337	<ul style="list-style-type: none"> ・担当者制による的確なマッチングの強化 ・採用選考に不安を抱いている求職者に対し履歴書の添削や模擬面接の実施 ・管理選考の定期的な実施 ・職員の相談技能の向上を図るための業務研修の実施
②充足件数 14,237	<ul style="list-style-type: none"> ・早期求人充足のための求人充足会議の効果的な開催 ・求人担当者制による総合的な求人充足サービスの提供 ・求職者ニーズを踏まえた求人条件緩和指導及び魅力ある求人票の書き方指導の実施 ・ハローワーク職員による事業所訪問及び事業所画像情報収集により求人票以上の事業所情報を求職者に提供
③雇用保険受給者の 早期再就職件数 3,973	<ul style="list-style-type: none"> ・求職申込時または初回認定日までの早期のマッチング、情報提供の実施 ・認定日における職業相談窓口への誘導の強化及び担当者制支援の実施 ・応募書類の作り方DVDの上映による就職準備支援の実施 ・雇用保険受給者全員を対象とした求職活動セミナーの実施

業務目標（主要指標以外）

マッチング業務の質を測定する指標【補助指標】

項目	労働局目標値
求人者向け調査における満足度	90%以上
求職者向け調査における満足度	90%以上
求人に対する紹介率	前年度実績以上
求職者に対する紹介率	前年度実績以上

地域の課題を踏まえ、特に重点的に推進し成果を挙げる必要がある業務に係る指標（公共職業安定所が特に重点を置く項目として選択するもの）【所重点指標】

項目	労働局目標値
生活保護受給者等の就職件数	340件
障害者の就職件数（推計値）	796件
学卒ジョブサポーターの支援によって正社員として就職した件数	1,487件
公共職業安定所の職業紹介により正規雇用に結びついたフリーター等の件数	2,438件
公的職業訓練の修了3ヶ月後の就職件数	452件
マザーズハローワークにおいて担当者制により就職支援した重点支援対象者の就職率	92.1%
正社員求人数	39,355件
正社員就職件数	6,682件
介護・看護・保育分野に就職した件数	1,600件
建設分野に就職した件数	380件
生涯現役支援窓口での65歳以上の就職率【新規】	109件
障害者のチーム支援による就職件数	182件

※ 公的職業訓練の修了3ヶ月後の就職件数は、平成29年10～30年9月末訓練終了コースまでの数値